

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第6号 平成26年4月19日

中・終盤の打線の流れの悪さがまたもや露呈

3本の適時打で勝利したが・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
S	0	0	0	0	0	1		1
G	4	5	0	0	0	0		9



先制適時打@山田



適時打@達脇



適時打@光希

4/19(土)金井公園野球場に向き、SOLSTARとのオープン戦を行った。前回の登板では無四球試合を演じた達脇、打線においては、中盤から終盤での流れが悪い中で、今日のゲーム内容はどのようになるか見ものであった。プレイボール直後の入りはストライクから、しかし2球目を死球で出塁とした。後続を内野ゴロに斬ったかと思った瞬間、今度は野手が失策を記録、これで、無死一二塁と初回から、失点シーンへと変わった。更に3番打者の時に、WPで走者は共に進塁、が、4番の投ゴロを野手の声掛けで三塁走者を刺し一死、更に捕邪飛・遊ゴロで何とか初回を無失点に抑えた。その裏の攻撃、先頭は倒れたが、二番達脇の打球は、ラッキーな内野安打、3番光希の遊ゴロを野手失策、4番は倒れたが、今日5番に入った祐介が、初球を左前に運ぶ適時打で先制、更に6番深沢の打球もラッキーな内野安打で2点追加、後続泉の遊ゴロを野手の失策、この間に深沢が生還し、初回から4点を挙げた。しかし、2回の相手攻撃、今日先発の達脇はピリっとしない、この回2打者連続四球で出塁、次打者の二ゴロの間に、走者は共に進塁、そして次打者の4球目は芯を喰った打球、が、これが野手正面のライナー、セカンドに送球し、DPでこの回のピンチも切り抜けた。その裏の攻撃、先頭が野手の失策で出塁、次打者も安打で続く、そして、先頭に帰り智も四球を選択し無死満塁、この場面に達脇が打席に入る。ピッチングはピリっとしないが、1打席目にラッキーな安打で出塁しているだけに、ここは彼のバットに期待が掛かった。その彼は2球目を中前に弾き返し、二者を迎え入れる適時打、更に3番光希もレフト前に運ぶ適時打で一人を迎え入れ、更に祐介の振り逃げの間に4点目、後続の押し出しで結局この回も5点の得点を挙げた。見た目には、一方的なゲーム展開に見えるが、ここから、最近の打線の悪さ、6回で時間切れゲームセットをなったが、この間相手投手は二人変わったが、何と出塁する事が出来ず、9点も相手チームの混成から来る内容と受け止めると、今日も問題が残る打撃陣という事になった。投手においても、結果抑える事が出来たが、運がついていたという表現に終始する。振り返ってみると、3本の適時打が出た事は収穫かも知れない。が、それ以降、再度得点を取りに行こう、と締めたにも関わらず、その気迫が打席から伝わって来ない。目指すゲームはトーナメントの短期決戦、今日の内容が起きない事が想定できるだけに、打者は如何に出塁を心掛けるかが継続の課題である。積極性と雑、消極性と出塁は共に、相反するが紙一重の行為。投手が変わったら、球数を投げさせるとか、様子を見るとかも工夫の一つ、バットの長さも工夫の一つ、この工夫が無ければ、何回やっても、結果は同じ。本当に考えよう！出塁する事を！